

スクールカウンセラーだより



令和4年6月発行

大島小学校スクールカウンセラー 手島由依

◎子どもが10歳になったら、親子関係の転換期

4年生の時に、学校によっては「二分の一成人式」と呼ばれる行事が開かれることがあります。実は10歳という年齢は、人間の心の発達においても一つの節目とされています。心が順調に発達していくために、10歳くらいの時期までにいくつかの課題(発達課題)をクリアしておく必要があるのですが、親子関係に関するものを一つご紹介します。

それは、生まれた頃から続いてきた上下関係から、人間として対等な関係に移行することです。つまり、親が子どもをしつけたり、親が子どもに教えたり与えたりする関係から、子ども自身で考えることを親がサポートするような関係に転換していく必要があるということです。自分で考えて行動し、評価を受けることで、子どもは自信をつけていきます。万が一失敗しても、子ども自身が失敗した理由や解決策を考えることで、子どもの心はどんどん成長し、自立に向かっていくのです。親が親なりの意見を伝えてももちろんよいのですが、子どもの意見や気持ちも十分に尊重し、親の意見を押しつけることがないように気をつけることが重要です。関わり方を変えることはとても難しいですが、時々親子関係を見直ししながら、少しでも工夫をしてみてくださいと幸いです。

◎カウンセリングの利用方法

大島小学校に通われているお子さんに関するご相談であれば、どのような内容でも受け付けています。学校生活、ご家庭の様子、友人関係、お子さんの発達についてなど、少しでも気になることがありましたら、どうぞお気軽にご利用ください。

- 相談室の場所:3階の教育相談室
- 相談可能時間:10時から15時まで(1回あたり45分程度)
- ご予約の方法:保護者様のご予約・お問い合わせは28-2604(教頭先生)までお願いいたします。児童のみなさんは、話しやすい先生やカウンセラーに直接「相談したい」と伝えていただいても大丈夫です。

◎9月までの来校日(変更になる場合があります)

6月:28日(火)

7月:5日(火),19日(火)

8月:なし

9月:6日(火),13日(火),27日(火)

